

研究機関：広島大学

研究課題名	内視鏡切除大腸 T1b 癌の垂直断端距離からみた追加外科手術後の転移再発リスクの検討
研究責任者名	広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2020年12月7日(倫理委員会承認後)～ 2024年 3月31日
対象者	1992年2月から2019年6月の間に、広島大学病院において内視鏡治療後に追加外科手術を施行した早期大腸癌の患者さん。
意義・目的	内視鏡治療後に追加外科手術が必要な大腸癌に対して、手術の前に内視鏡切除を行うことは、患者さんの予後に影響を与えないことが以前より報告されています。また、内視鏡治療後の病理標本では癌浸潤先端部から断端までの距離は 500 $\mu$ m 以上をもって切除することが安全とされています。しかしながら長期予後および再発のリスクについては未だ明らかになっていないのが現状です。そのため今回、内視鏡切除施行された大腸癌の垂直断端距離と追加外科手術後の転移再発および予後の関連について検討するため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、併存疾患、内視鏡所見、病理組織所見です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5537 広島大学病院消化器・代謝内科 クリニカルスタッフ 西村朋之